第３回　恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・ＰＴＡ・コミスク部会　（会議録）

会議の名称	第３回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会環境整備・ＰＴＡ・コミスク部会
開催日時	令和５年９月５日（火）　午後７時から
開催場所	明智振興事務所　ききょう会議室
報告	第２回環境部会終了後からの経緯について
議題	（１）校舎の増築場所について （２）課題No.９「校舎の増築、改修に関すること」について ～校舎づくりのアイデアの提案～ ・次回の環境部会について
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森　慶隆 安藤　常雄 太田　礼子 酒井　基之 鈴木　則彦 安藤　真由美 川上　容子 吉田　美恵子 後藤　純一 園原　正明 平林　将人 片桐　慎一 細江　幸次 後藤　理恵 松村　友美 山田　宗則 非　公　表 大石　佐緒理 教育委員会 丸山　頼彦 長谷川　椋 小栗　　研

横田　洋平
市川　寛子
佐々木　和美
市川　太一

会議の内容　　会議録のとおり

傍聴者の数　　１０名

１．部会長あいさつ

部会長：先月の山岡中学校の見学会から１ヶ月ほど経った。たくさんの方に参加していただき感謝申し上げる。現状あるいはこれからの姿がぼんやりながらでも頭の中に浮かべていただけたかなと思う。今日はデスクワークのような形を取らさせていただいた。建設的な意見をいただければ大変ありがたいと思っている。

２．報告

・第２回環境部会終了後からの経緯について

事務局：①当初、第３回の部会は7月12日を予定していたが、6月21日の新聞で市職員が賛意発言の工作をしたという記事がでて調査が必要となったため、延期させていただいた。その後、市の方で調査をして、7月20日に結果を報告させていただいた。それを受けて、8月3日に理事会を開催した。

②8月3日の第２回の理事会では、コンセプトについて提案をさせていただき、まだ不足しているという意見をいただきながらも、これに肉付けをして最終的なものにしていこうという流れであった。今は各部会と並行しながら次の理事会を予定しています。

③皆さんの中には、こういう学校にしようという期待をしているところもあれば、まだまだ不安だというご意見もある。ただ、それに向かってどうしていったらいいかを前向きに話し合わないことには良し悪しも出ないため、その方向性を定めていきたい。教育委員会としても、多くの方々のご意見を伺いながら、統合する中学校に向けて進めていくということで頑張っていきたいと思っている。多くの検討する項目があるが、子どもたちの未来、新しい学びの場を作っていきたいというところで、1つ1つその方向をこの場で確認していければと思っている。これからも立ち止まることなく、いろいろなことを話し合いながら進めていきたいと考えている。

３．協議

（１）校舎の増築場所について

事務局より説明

委　員：以前に増築分のスペース、教室が８つ足りないという説明を受けたが、その８つ

分の教室のスペースが今示されたＡ(校舎東側の駐車場)、Ｂ(校舎の中庭)、Ｃ(グラウンドの西側)で足りるのかなと思ってしまった。前の見学会の時に、グラウンドに建てればいいんじゃないのという話もあった。Ｂ＆Ｇのグラウンドを使っていなければそっちを使ってもらって。でもＡありきで進められても、普通教室も皆さん見て狭いねって話もしていたので、Ａ前提で進められてもこっちの方がどうかっていう意見は結構あったと思う。

事務局：以前の説明会で出した資料が用意してあるが、これだけの教室が必要となったときに、今の学校ではもちろん不足する。じゃあどこにするのかというところで、普通の教室の標準の大きさに対してそれより小さいということも加味しながら、ちょっと大きめを想定してＡの場所に入るのかと思ったときに、図の示し方が小さいかもしれないが、入れようと思えば入れられた。ただ、その配置がいいのかどうかというのは、皆さんの意見を聞きながら決めていかないといけないと思う。今言ったように、現地を見られた時にはグラウンドに作ったらどうかという話。ただ、グラウンドを潰すことが本当にいいのかどうかということも考えていけないと思っている。なので、Ａの場所があるよということを少し頭においていただきながら、進めていただけるとありがたい。

委　員：先に決めてしまうのもわかるが、僕らはバスのことも考えないといけない。もし、バスが校舎のところまで来るのであれば、バスがどうやって行ってどうやって戻っていくのかということも考えて、校舎の位置とか、造成しないといけないとか、周回の道を作るとか、そういうこともあると思う。多分ここＡが一番建築しやすいと思うが、校舎だけで考えてしまうと後々バスを考えたときに、ロータリー作るところがないとか、入ってこられないので下の方にとか。結局グラウンドを潰さないとロータリーができないとかじゃあれなので、そこも考えないと。

事務局：確かにスクールバスでどこまで入ってこられるか、どこで転回したらいいのか、限られたスペースの中でどうしようかというのは、前々回も話があったと思っている。一旦、候補地Ａ、Ｂ、Ｃがあるということで今日はスタートして、それを踏まえてどこがいいのかというのも意見を出しながら決めていくということでいけば、いろんな方の意見が、思いが出るかもしれない。なので、３つの候補地があるということで考えていきたいと思う。

委　員：今の３つの場所というのは、建築基準法とかでもうここは駄目だという風にはなっていないのか。

事務局：この３つについては、先ほど言ったＢも例えば細長くして増築したところには日光が入るようにする、今あるところにも日光が入るようにするということであれば違反にはならないため、まだ検討の余地はあると思う。

事務局：そうなった場合、どれだけのものができるのかということが、最終的には予想していたものが入らないという可能性もある。そこは持ち帰った後の専門家が設

計をする段階で良し悪しをお伝えできると思う。

委　員：９月が契約のリミットというか節目だという話が最初にあったと思うが、今９月で、今回アイデア出しをして、今新しい図面というか、予定の図面は全くない状況なのか。

事務局：最初に示したのは、９月に間に合わしていけないと次の段階に進められないということだったので、設計のリミットはもう少しある。このタイミングでやっていこうというリミットで９月末を目指していたが、先ほど話したようにずれてしまったため、設計ということで言えばもうちょっと時間はある。

委　員：今日アイデアを出したものがこれから反映されるということか。

事務局：今日ここで決めたものを持ち寄って、設計家が書く絵の中でどれが実際できるのか、ここに建てようと思っていても実際建築が可能なのかとか、そういうのを正確に判断した絵を作って、次回皆さんにフィードバックしていきたいと思っている。今日は皆さんの自由な意見を出し合って、集約したいと思っている。

（２）課題No.９「校舎の増築、改修に関すること」について

事務局より進め方について説明

こども園グループ、小学校グループ、中学校グループに分かれてグループワーク形式で作業後、グループごとに出た意見を発表

中学校グループ：

（施設）職員の数が増えるので職員室を大きくしたい、遠くではなくて近いところに職員の駐車場の確保、不審者の件もあるのでセキュリティの強化、教室が狭いので広くしてほしい、教室にいたくない子が出てくると思うのでそういう子が居られるスペースが３か所くらいあるといい、室内に木をふんだんに使ってほしい、遊び心がある環境が欲しい。

（設備）トイレの数が少ない、バリアフリーになっていない、独立したトイレがいい、明るいトイレがいい、エレベーターやスロープで車椅子や障がいのある方が来られる学校、手洗いが少ない、既存のロッカーが小さい、太陽光パネルの設置にプラスして防災の時に使える蓄電池をつける、使い勝手が良くて前に書いたことを保存できる電子黒板にする。

（道路）災害や雨天時の引き渡しをするスペース・ロータリーで屋根付きであるとすぐに出ていける、学校をぐるっと回るような周回の道路、学校までの道路の整備

（他）英語科・数学科・国語科といった教科別の教室を作り、その教室に先生がいて子どもたちが移動する。そうすると、教材とか先生たちの準備はその教室に置いておいて完結する。普通教室で授業をする場合は一人の先生がいろんなレベルの子を見ないといけないが、教科別にして２、３人の先生がいれば、３クラスをレ

ベルに分けて、もうちょっと伸ばしたい子には高いレベルの教育をして、ちょっとわからないという子には手厚い教育をしてもらえれば、置いて行かれる子もいないし、下の方に付き合って成績が伸びないということもない。全体で上がっていけられるような学校になるといい。ただ、クラスが集まるスペースは必要なので、ロッカーと椅子が置いてあるぐらいでいいので、朝礼や会話ができるくらいのスペースがあって、あとはみんな教室へ移動しながらやっていく。教科別の教室の近くにワークスペースがあればいろんな活用ができる。

小学校グループ：

（増築）現グラウンドの真ん中に３階建てを建てる、本校舎と増築校舎の１階と２階を渡り廊下でつなぐとスロープにはならない、その周りを職員や親さんの駐車場にする、グラウンドはＢ＆Ｇを使ってもらう、新しい増築校舎に職員室を入れて会議とかもできるようにする。現職員室を潰して会議室にする、トイレが少ないので現会議室をトイレに改修する

（施設）図書館が狭く本の数も少ないため本棚を高くしたい、教室が狭いので増築校舎の方に教室などを作ったらどうか、ランチルームをリラックスルームみたいな感じで活用できないか、中庭のステージは山岡中学校を象徴するような空間だと思うのでこのまま活用してほしい、ステージの下地が古くなっているので張り替えてほしい、更衣室が狭い、下駄箱が中央部にしかなく少ないので出入り口を増やして下駄箱も増やす、保健室のベッドが２つしかないので増やしたい

（設備）IT 化が進む中で紙ベースの資料がなくなりテーブルを小さくすることができる、ランチルーム内の洗面所で歯磨きまでしているが衛生面的に心配であり集団感染をすぐ起こす恐れがある

（道路）ロータリーについては、一つは校舎を周回する形でＢ＆Ｇから回ってきて一方通行にしてこども園さんとはかち合わないようにする。もう一つは坂の下の旧デイサービスの近くにある田んぼを造成してロータリーにする。子どもには歩いて上がってもらうがそれぐらいは全然いいと思う。

（他）将来的に空き教室ができることは分かっているので、今後は地域学習などの部屋として活用したらどうか。一つの部屋でいろんなことを同時にやるのではなく、ここの部屋は串原の部屋、ここの部屋は山岡の部屋みたいなふうにして、地域学習の場として使う。また、５中学のモニュメントも残したいので、象徴するようなものを展示できるようなスペースを用意してもらえるといい。

こども園グループ：

（増築）新校舎にはネット環境を充実させてほしい、不登校児の子が登校しやすいような

位置に新校舎を増設、例えばＡの位置よりもグラウンドだと離れているだけで入りやすい、Ａの位置も手前だから入りやすい、新校舎もそういう子たちが使いやすいような教室にしてもいい

（施設）ランチルームを図書館にする、ランチルームと２階部分をつなぐ階段を作ってワークスペースにしてみてはどうか、教室を広くしないとタブレットが置けないので教室自体は広くすべき、更衣室が狭くて活用しづらそうだから更衣室をなくして教室にカーテンを設置したらどうか、保健室がこの規模にしては小さく狭い、聴覚過敏とか自閉症の子向けのスペースがいる、恵南５地域それぞれ文化が色々あるのでその文化をしっかりと残しておけるような紹介するスペース、各地域で行われているイベントを紹介してそれに参加できるような工夫が必要

（設備）各教室・体育館を含めて全てクーラーがいる、食材を運んだり、障がい児も含めてエレベーターやスロープがいる、絶妙な思春期の子どもたちのために各学年で使えるようなトイレが３箇所以上いる、黒板をホワイトボードにする

（道路）駐車スペースが少なくなるのは問題なのでグラウンドもしっかり活用する方法があった方がいい、グラウンドを駐車スペースやロータリーにする、恵南デイサービスの土地を使って晴れた日はそこから通う、警報時には雨がひどいので安全に迎えに行けるための屋根がグラウンドにないと子どもたちも危ない

（他）各地域に不登校の子が通えるスペース。やっぱり行けない・バスに乗れないという子も絶対いるので、ＩＣＴで繋いで授業が出来るのであれば、そういうスペースを各地域に残しておかないとバスに乗れない子には不利益かなと思う。
これだけたくさん案がでること自体が焦って進みすぎじゃないか。教室も２年後、３年後というよりも、５年後ぐらいの方がゆっくり決められるのでは。

各グループの発表を受けて、自グループの意見の確認や優先度の振り分け作業

事務局：再度グループで話をして、意見を言いたいという方がいればお願いしたい。

委　員：前回の会議のときの提案で、実際に今使っている山岡中学校の生徒や先生たちの意見を聞きたい。そういった声を反映できるようにしていただきたい。

委　員：校舎は綺麗になって整えてくれると思うが、そこを動かしてくれる先生の数。定数で決まっているかもしれないが、なんとか支援員さんの数を増やしてほしい。

委　員：さっき教科別の教室がいいと言ったが言い忘れたことがあった。教科別にしておくともう一つメリットがあって、人数が少なくなった時に空き教室がなくなる。増設したものが無駄にならない。空き教室がいっぱいあって無駄じゃないかと言う人が多かったが、教科別なら少なくなっていっても使えるんじゃないかなと思う。あと、更衣室の話があって、使える更衣室がいいのか、それとも今ジャージで登校しているんだったら更衣室どうなの、という話もあった。

委　員：新校舎のゆくゆくの活用というところで、校舎に近いところじゃなくて、ちょっ

と離れたところに作ることで、さっき言ったみたいに不登校児が通いやすい場所だけじゃなくて、最終的に生徒が少なくなって教室がオーバーするという時とかにも、例えば民間のフリースクールを入れたりとか、そういう違う活用をするというのも一つの案になるんじゃないかなと思う。さっき言った５地域の特色を広めたい見守り場所という意味でも、教室じゃなくてちょっと違うところに作るというのはありかなという話も出た。

事務局：今日終わりましたら、B紙に貼ったものを確認させていただいて、設計業者と具体的に話し合いを進めていきたいと思う。

部会長：色々な議論を自分のテーブルでしており、隣のテーブルの声も当然聞こえてきたので、皆さん活発に意見を出していただいたなというのが今のところの実感である。先ほどもあったが、これで議論したことを次の時に反映をさせて、建設的な方へどんどん進めていくようにできれば本当にいいと思う。

４．次回の環境部会について

部会長：次回の部会については。

事務局：次回の部会については、一旦持ち帰って図面にしたものを皆さんにお示ししながら最終確認をしていきたいと思っている。今日は校舎だけのことではなくてスクールバスをこうしたらいいなど、いろいろな意見も聞いたので、それを交えてどういうふうがいいかというのを一旦フィードバックさせていただきたいと思っている。

開催日の予定は９月２８日の木曜日でいきたいと思っている。あと、会場について皆さんにご相談したいのは、これで一応岩村、山岡、明智でやった。５地区ある中で、上矢作町と串原があるわけだが、回っていった方がいいのかどうしようというのがご相談である。

委　員：回っていった方が。

事務局：その日に空いているかどうかもあるので、串原もしくは上矢作というところで確認をさせてもらいたい。どうしても駄目だったら違う場所になってしまうが、そういう形で決めたいと思う。場所については、空きも含めながら今日の提案も踏まえて決めさせていただく。

委　員：私たちはいつも遠い道のり来ている。大変な思いをしている。だから来てくださいというわけではないが、多分皆さんが串原に来ていただく道のりは、子どもたち、中学生がスクールバスで通うことになる道である。例えば冬の凍結したときとか、ちょっと串原行きたくないなと夜思われるかもしれないが、子どもたちはその道を毎日、冬場も通うことになる。統合がなかったらそんなことはなかったけども、遠い道のり通うことになって、冬場とか私は本当に心配していた。バスの運転手さんも大丈夫なんだろうかとか、色々心配している。本当に心配は尽き

ないが、ぜひ凍結した日に一度、夜とは言わないがドライブに来ていただきたいなと思う。こんな道を中学生が通うことになるのかというのを見てもらいたい。

事務局：こういう機会なので、やはり全部回っていきたい。